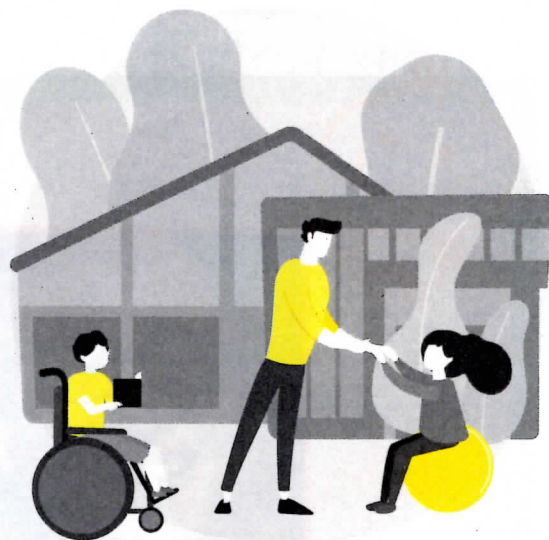


2025

6/7 (土)

10:30~12:30 (10:00 受付)



講演「子どもたちにとってのFUNってなあに？」

—「身体障がいのある子ども達へ
「動く楽しさ」を届けるお手伝い—

会場：

国立病院機構甲府病院 4F 大会議室
(甲府市天神町11-35)

対象： 50名程度

理学療法士・作業療法士
医療的ケア児当事者とご家族
医師・看護師・保健師などの医療職
介護職・事業所スタッフ
保育士・教職員

受講料： 無料

申込み：



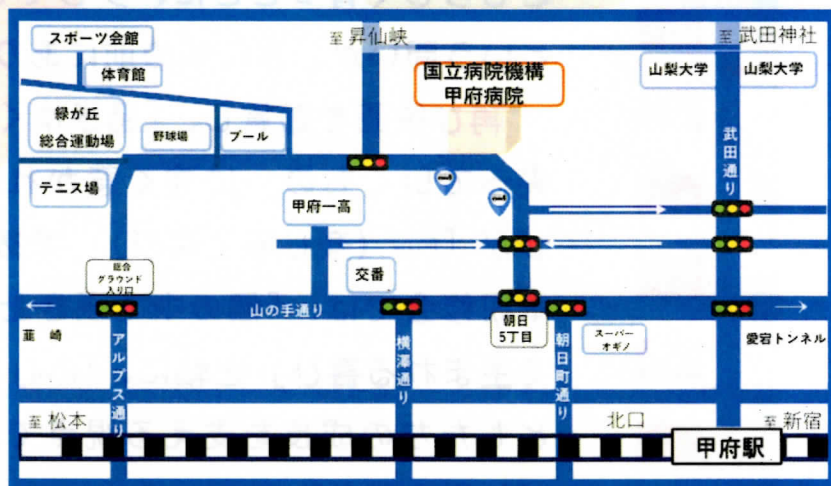
こちらから→

申し込み締め切り 5月23日 (金)

講師

びわこ学園医療福祉センター草津
理学療法士

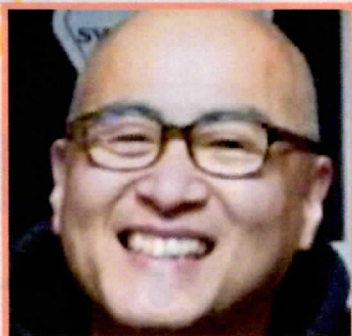
高塩 純一 先生



山梨県医療的ケア児支援センター
お問い合わせ先 055-287-8209
info@icareyamanashi.jp

共催：山梨県医療的ケア児支援センター
国立病院機構甲府病院リハビリテーション科
県内理学療法士・作業療法士有志

講師紹介



理学療法士
高塩 純一 先生
びわこ学園医療福祉センター
草津 非常勤職員

株式会社ビザライ非常勤職員をはじめ、障害児者サポートに関わる仕事を兼務。
任意団体Kids Loco Project 共同代表
日本重症心身障害学会 リハビリテーション委員会委員など、学会、研究会理事を務めている。

高塩先生からのメッセージ

1987年公開の映画『ベルリン・天使の詩』の冒頭に登場する詩の一節、「子どもが子どもだった頃」という言葉は、私の心に深く刻まれました。当時は映画の内容を理解することよりも、観たこと自体に満足し、そのメッセージを深く考えることはありませんでした。しかし、障害や病気のある子どもたちと関わる中で、「私は、子どもが子どもらしく育つことに、少しでも力を貸せているのか？」という問いが、常に私の前にありました。

再び映画を鑑賞し、「過ぎゆく日常の中で大人たちが見失っていくもの」に強く惹かれました。そして、その一つが「Fun (楽しみ・喜び)」であることに気づきました。本研修会では、「個の中で湧き上がる喜び」と「関係の中で生まれる喜び」を軸に、「Fun」というキーワードで、子どもたちの成長を支える視点でお話しさせていただければと考えております。